

大阪府立芥川高等学校 令和5年度第1回学校運営協議会 議事録

校名	府立芥川高等学校
(准)校長名	富山 一紀

開催日時	令和5年6月23日(金)
開催場所	府立芥川高等学校 校長室
出席者(委員)	清水会長、吉田委員、芝野委員、西田委員、濱崎委員、伊藤委員
出席者(学校)	校長 富山、教頭 吉岡、事務長 川谷、首席 藤原、首席 渡邊、進路指導主事 片山、書記 杉本、相田
協議資料	令和5年度学校経営計画、授業アンケート(1学期実施分) 2022年度入試結果、3年4月進路希望調査結果、2023年度進路指導計画
備考	

議題等(次第順)

- ・会長及び会長代行の選出について
- ・4月からの学校の動きについて
- ・令和5年度学校経営計画にもとづく本校の取組みについて
- ・進路指導部より(2022年度入試結果、3年生4月進路希望調査結果、2023年度進路指導計画)
- ・生徒による授業アンケートについて
- ・スクールポリシー案について
- ・その他

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- 会長及び会長代行について、清水委員を会長に、吉田委員を会長代行に選出することが承認された。
- 学校経営計画の中期的目標について、以下の内容を評価する意見があった。
- ・「2.(2)国際感覚の育成」の項目で、「異文化理解をテーマとする国内修学旅行」をはじめ「実現可能な形で異文化に触れる機会を創出」とある。各大学でもアドミッションポリシーで掲げているところも多く、そうした経験の貴重な機会になれば良いと考える。
  - ・「3.(2)体験学習の充実」の項目で、「保育園実習等を通じて」とあるが昨年まで掲げられていた「高齢者施設実習」がカットされたのは、コロナ感染防止から受け入れ施設が見つからないことが理由だと考えるが、こうした福祉・保育施設のなり手が少ない中、やりがいがあり、夢のある仕事であると高校生に知ってもらえる機会を大事にしている取り組みである。
- 学校経営計画の中期的目標の以下の内容について質疑応答があり、現状と課題をふまえて、取り組みを進めるよう助言があった。
- ・「4.(2)教職員の働き方改革による時間外在校等時間の削減」の項目で、メールでの欠席遅刻連絡システムで、保護者の立場から電話では連絡する時間が限られていたが新システムでは早朝から連絡できる、また担任の折り返し連絡の希望の有無も入力できる仕様になっており、かえて便利になった。教員の手間も省けてるのならたいへん良いことである。
  - ・同じ項目で、学校電話を勤務時間外はテープで対応することについて、部活等の生徒活動が勤務時間外も行われている中、緊急対応をどのようにしているか等の質問があり、高校生はスマホ等をほぼすべての生徒が所持しており、放課後は使用を許可しているため、直接保護者が連絡がとれる体制であることが説明された。教育庁が音頭を取った府立学校一切の取り組みのため、保護者の理解を得られて進んでいる現状が報告された。
  - ・「3.(1)(略)withコロナの新生活様式を実践する」の項目で、学校での現状について質問があり、マスクを外している生徒は少しはいるが、教室での授業ではまだまだ多くは着けていること、教員も同様の傾向であること、コロナ対策予算は昨年度で終了の見込みであること等を報告した。
- 「2022年度入試結果」「3年4月進路希望調査」「2023年度進路指導計画」の報告を聞き、2024年度入試では18歳人口が約107万人と減少し、全体的に見れば入試競争は緩和される見込みであるので、一般入試の最後まで希望の進路実現に向けて粘ることが進路実現につながると助言があった。
- スクールポリシー案について、学校経営計画との整合性、決定の主体は教育庁なのか学校長なのか、等の質問があった。内容については、昨年度助言いただいたスクールミッションに沿って作成されたとの説明に対し、特に異論はなかった。
- 「生徒による授業アンケート」の項目について、お認めいただいた。

次回の会議日程

日時	令和5年11月中旬～下旬
会場	府立芥川高等学校 1階 校長室